

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和7年8月11日（月）～令和7年8月17日（日）〔令和7年第33週〕の感染症発生状況

第33週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）新型コロナウイルス感染症 2）感染性胃腸炎 3）流行性角結膜炎でした。

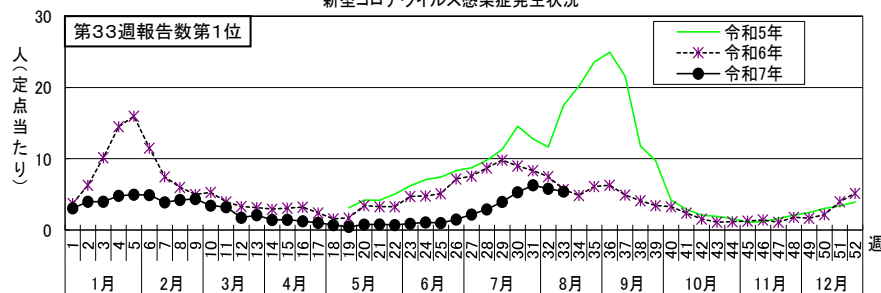
新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は5.41人と前週（5.81人）から横ばいでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.15人と前週（3.71人）から減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

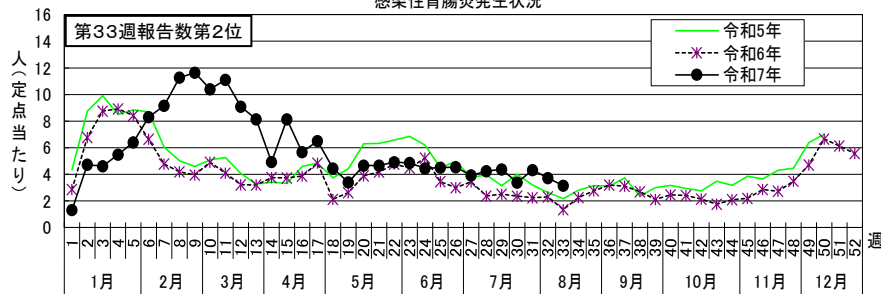
流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.14人と前週（0.43人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。



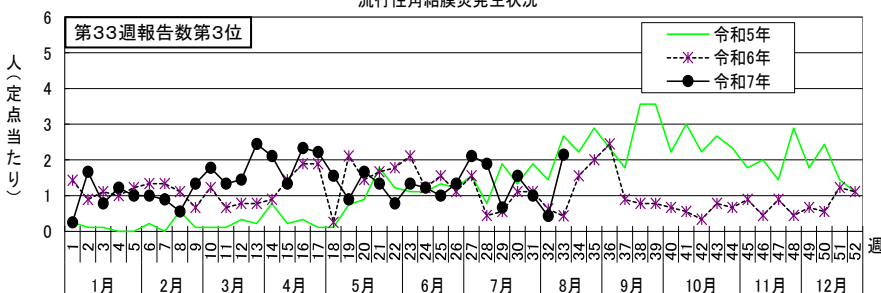
新型コロナウイルス感染症発生状況



感染性胃腸炎発生状況



流行性角結膜炎発生状況



帰国後の体調変化に注意しましょう！

海外渡航される方は令和5年以降毎年増加しており、この夏も海外で過ごされた方は多いと思います。帰国後に下痢や発熱、皮膚の異常等の体調不良を訴える方は多く、海外で感染症にり患したと推定される事例もあります。

体調に異常を感じた場合は、受診前に電話などで渡航歴があることを伝え、旅行先や旅行期間、旅行中の行動、発症日、症状、ワクチン接種歴などを含めて相談することが大切です。これらの情報は、り患している感染症を特定するために重要であり、速やかに適切な治療を受けることにつながります。

相談時に役立つ情報

①旅行先

旅行先や旅行期間等がわかると感染した場所を推定することに役立ちます。



②旅行中の行動

生水や不衛生な食べ物、虫刺されや動物との接触の有無などがわかると、原因の特定につながります。



③発症日

発症日はその後の経過を診る上で大変重要です。旅行先での感染かどうかの判断にも役立ちます。



④症状

発熱や下痢だけでなく、意識障害等の重篤な症状が出現することもあります。症状の変化に注意しましょう。



⑤ワクチン接種歴

ワクチン接種歴によって、り患の状況が変わります。接種歴を確認しておきましょう。

